

東北地方 1か月予報

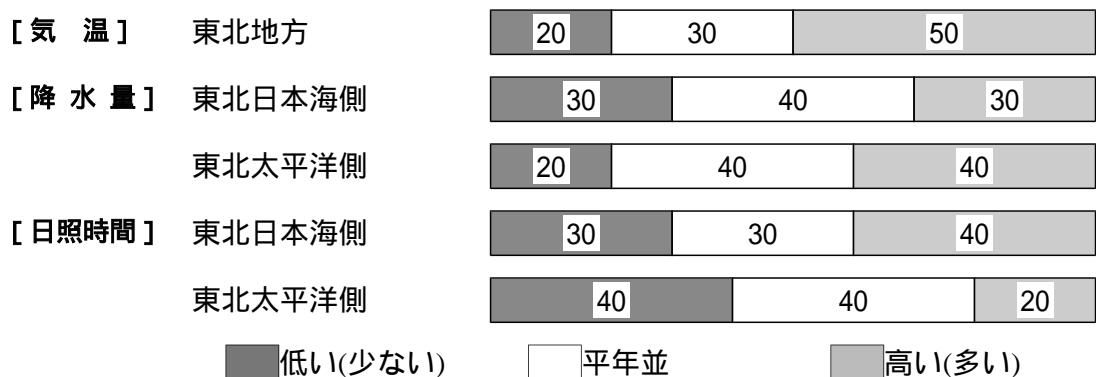
(10月20日から11月19日までの天候見通し)

平成19年10月19日
仙台管区気象台発表

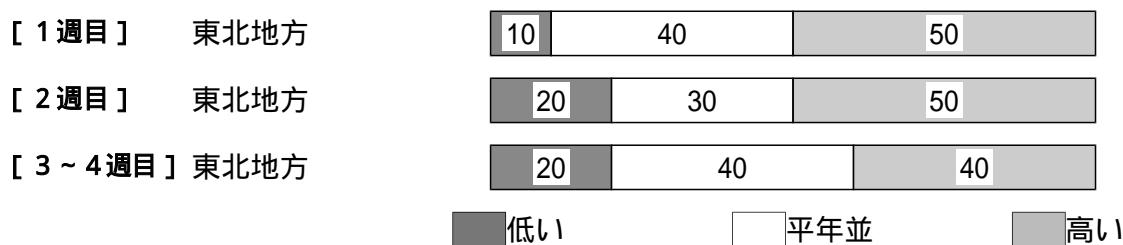
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。
向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目、2週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 10月20日(土) ~ 11月19日(月)
1週目 : 10月20日(土) ~ 10月26日(金)
2週目 : 10月27日(土) ~ 11月2日(金)
3~4週目 : 11月3日(土) ~ 11月16日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は10月26日
3か月予報: 10月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	8.8	129.2	118.2	11.1	9.8	7.7
深浦	9.7	155.9	97.5	11.9	10.7	8.7
むつ	8.5	116.2	133.0	10.8	9.5	7.4
八戸	8.9	72.8	153.8	11.2	9.9	7.9
秋田	9.9	179.8	113.1	12.2	10.8	8.8
盛岡	7.9	101.3	135.5	10.2	8.9	6.9
大船渡	10.3	117.1	150.0	12.3	11.2	9.4
宮古	9.8	90.3	157.4	11.7	10.6	8.9
仙台	11.3	78.5	153.9	13.4	12.2	10.3
石巻	10.5	80.8	161.3	12.7	11.5	9.6
山形	9.4	77.0	119.0	11.6	10.3	8.4
新庄	8.4	188.2	83.1	10.7	9.4	7.4
酒田	11.1	206.6	109.6	13.3	12.0	10.1
福島	11.1	72.2	142.2	13.2	12.0	10.2
若松	9.2	73.1	106.9	11.5	10.1	8.3
白河	9.7	75.3	153.9	11.7	10.6	8.8
小名浜	12.8	107.3	166.5	14.8	13.6	11.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.5	83 ~ 112	95 ~ 105
東北日本海側	-0.4 ~ +0.5	92 ~ 107	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.6	68 ~ 120	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6
東北日本海側	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.8	-0.5 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年10月19日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月20日～11月19日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(10月20日～10月26日)：

期間のはじめと終わりは気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、雨の降る日があるでしょう。その他は高気圧に覆われておおむね晴れる見込みです。

なお、明後日(21日)にかけて、気圧の谷や寒気の影響で荒れた天気となり、東北北部の山岳部では雪の降るところがあるでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

2週目(10月27日～11月2日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

3～4週目(11月3日～11月16日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

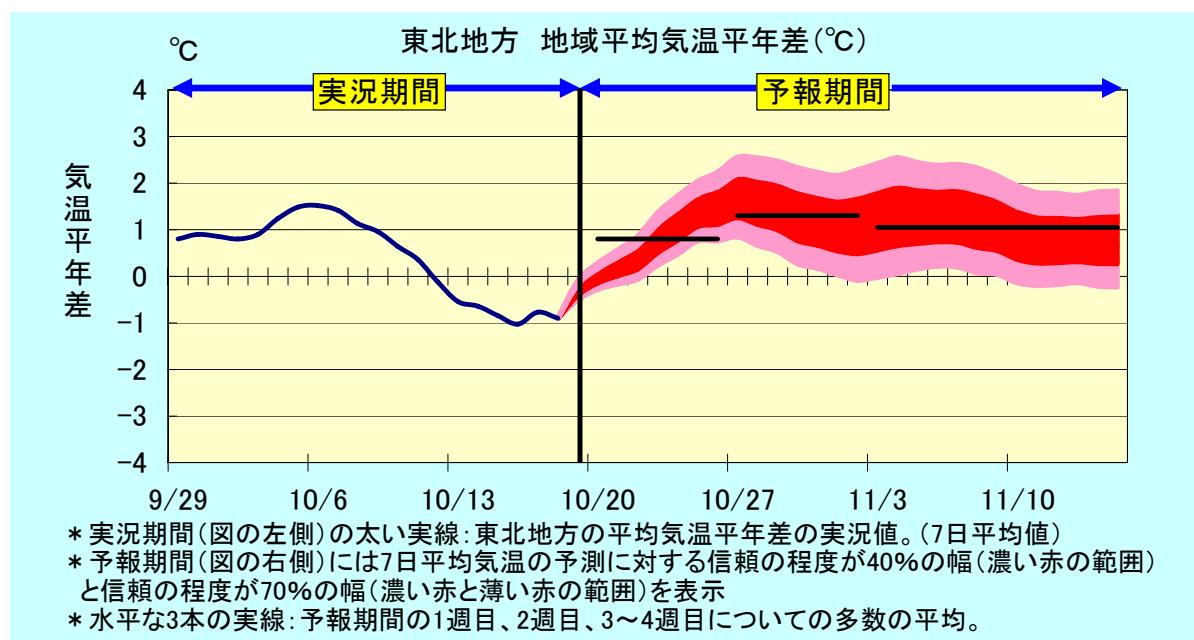
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	11.3日	3.4日	2.7日	5.2日
東北太平洋側	16.9日	4.3日	4.1日	8.5日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3～4週目とも平年を上回る予想となっている。

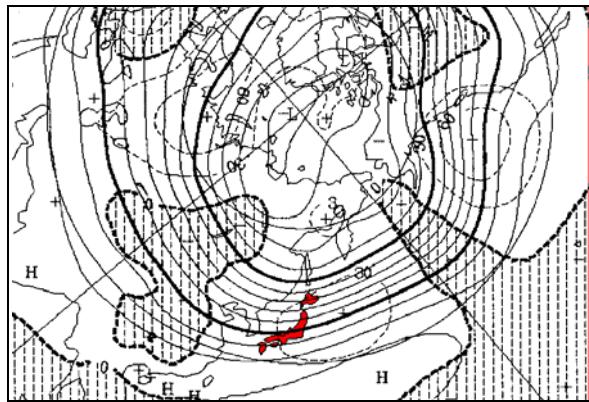


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は東海上を中心に強い正偏差で高温傾向。相対的に日本の西の高度が低く、西谷傾向。寒気の南下は弱いが、低気圧の影響を受けやすい。

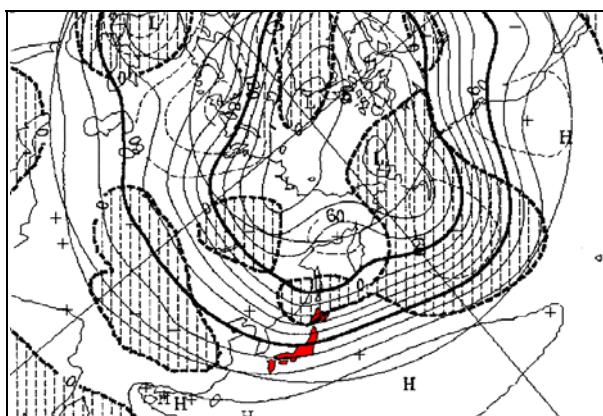
1週目: 日本付近は北海道を除き正偏差におおわれる。日本付近の偏西風の蛇行は小さく、天気は数日の周期で変化する見込み。

2週目: 1週目に比べ、偏西風の蛇行が大きくなる。日本の東海上が正偏差、日本の西が負偏差の西谷傾向。このため東北地方は、気温が高く、低気圧や前線の影響を受けやすい。



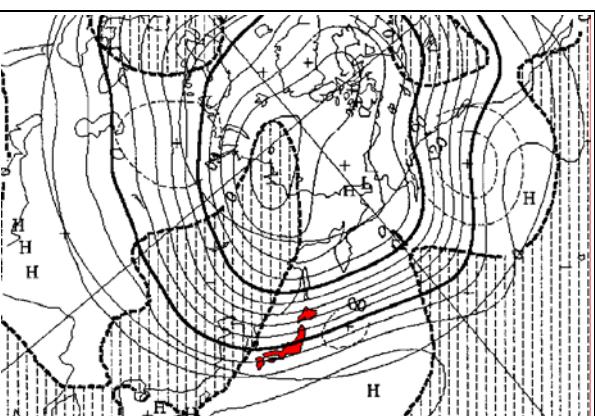
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

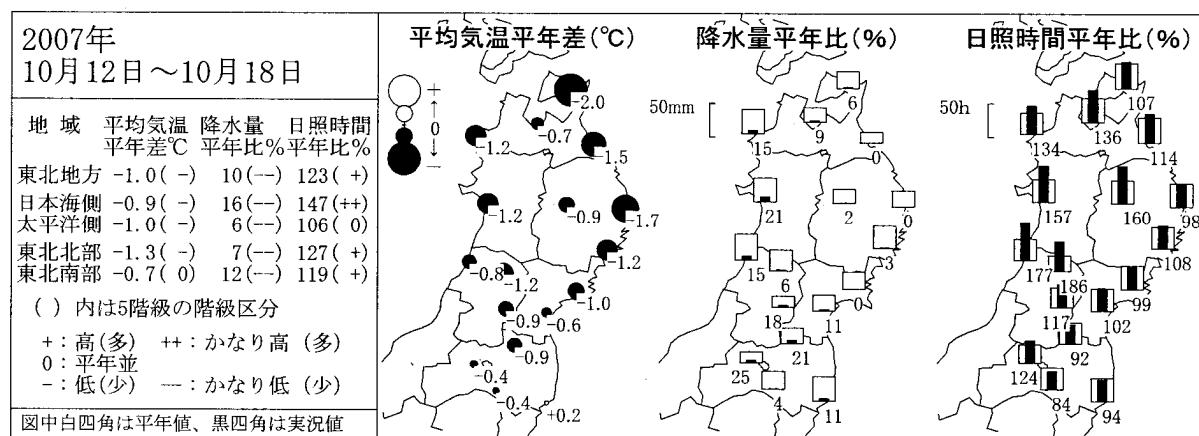


2週目平均 500 hPa 予想天気図

4. 最近1週間 (10月12日～10月18日) の天候の経過

この期間、東北北部は高気圧におおわれて晴れの日が多くたが、寒気の影響で一時雨のところもあった。東北南部も晴れの日が多くたが、15～17日は本州南岸の前線の影響で曇りで一時雨のところもあった。また、寒気が入ったため東北北部を中心に気温は低かった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北地方でかなり少ない。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）